



署長挨拶

～ 飲酒運転撲滅に向けて ～

盛夏の候、皆様、いかがお過ごしでしょうか。

飯塚警察署長の中山です。

皆様には、平素から警察活動に力強いご協力と格別のご理解を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

いよいよ夏本番を迎え、皆様が楽しく過ごせるよう、飯塚警察署では、署員が暑熱対策に配意しつつ、管内のパトロール活動等、署員一丸となって各種警察活動を強力に推進しているところであります。

さて、本年は、「平成23年2月9日に発生した糟屋郡粕屋町において飲酒運転で高校生2人が犠牲となった交通事故」から15年が経過し、また「平成18年8月25日に発生した福岡市東区の海の中道大橋において飲酒運転で幼児3人が犠牲となった交通事故」から20年が経過しようとしています。

令和7年4月に福岡県警察本部が公表した、飲酒運転に関するアンケート調査結果では、「糟屋郡粕屋町の飲酒運転死亡事故」について、10代で約8割、20代で約7割、

「海の中道大橋の飲酒運転死亡事故」について、10代で約5割、20代で約3割が、それぞれの事故自体を知らないとの回答がなされるなど、若い世代をはじめ県民の多くに、糟屋郡粕屋町や海の中道大橋における飲酒運転死亡事故を始め数々の痛ましい飲酒運転事故の記憶が風化しつつあることが懸念されます。

飲酒運転は、尊い命、希望溢れる未来を一瞬のうちに奪うとともに、被害者のご家族の人生にも消えることのない深い悲しみを残します。また、加害者のご家族の人生も一変させます。

当署におきましては、自治体、関係機関・団体等と連携の上

◎ 令和8年6月20日、ゆめタウン飯塚において、女子プロバレーボールチーム（福岡ギラソール）と協働した飲酒運転撲滅キャンペーンの開催

※ 高山侑花選手を一日警察署長に委嘱

◎ 令和8年7月25日、筑豊地区全警察署、警察本部交通部と合同による飲酒検問の実施

※ 出発式を飯塚市役所で実施

等により、管内住民をはじめ県民全体の飲酒運転の撲滅の機運を高め、過去の痛ましい飲酒運転事故の記憶を風化させないよう今後も交通指導取り締まり、広報啓発活動等を強力に推進して参ります。

地域住民の皆様へ

「飲酒運転は犯罪である」ということを認識していただき、「飲酒運転は絶対にしない、させない、許さない、そして見逃さない」をスローガンに掲げ、引き続き、福岡県から飲酒運転を撲滅するようご協力等よろしくお願いします。

令和8年8月吉日

飯塚警察署長

警視正 中山 隆裕

女子プロバレーボールチーム（福岡ギラソール）
と協働した飲酒運転撲滅キャンペーン



筑豊地区全警察署・警察本部交通部と合同による飲酒検問出発式

